



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5837)3611
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	1,953	1.6	95	70.7	88	59.0	57	100.9
19年2月期第3四半期	1,923	△22.6	56	—	55	—	28	—

(注) 包括利益 20年2月期第3四半期 57百万円(100.9%) 19年2月期第3四半期 28百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	32	34	30	86
19年2月期第3四半期	17	48	16	73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
20年2月期第3四半期	1,246	297	23.8
19年2月期	889	239	26.8

(参考) 自己資本 20年2月期第3四半期 296百万円 19年2月期 238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
20年2月期	—	0.00	—	—	—	—
20年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,751	3.4	210	97.6	206	94.2	132	50.2	74	51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	20年2月期3Q	1,970,000株	19年2月期	1,970,000株
② 期末自己株式数	20年2月期3Q	193,667株	19年2月期	193,667株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	20年2月期3Q	1,776,333株	19年2月期3Q	1,635,665株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2019年7—9月期のGDP実質成長率は、4四半期連続でプラスとなりましたが、台風等の自然災害が相次いだため、災害からの復旧が進んでいるものの今後のわが国経済に影響を与える可能性があります。企業収益は、製造業での減益割合が大きくなっておりませんが、雇用情勢は有効求人倍率は高水準を維持し、完全失業率は低水準にあります。一方、個人消費は、消費税率の改定後、小売業の販売額が減少しております。

当社グループの事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業となっており、前連結会計年度から開始したゴルフスクール事業はフィットネス事業に含めております。当第3四半期連結累計期間における事業別のセグメントの業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

当社のバイク買取台数は7,156台(前年同期比10.2%減)、販売台数は6,820台(前年同期比10.9%減)となりました。台数は減少しましたが、業者間オークションに出品した車両の落札単価が増加したこと及び当社小売店での販売が好調だったことから、販売単価は前年同期比12%増、粗利単価は同16%増となりました。その結果、売上総利益は前年同期比3.3%増となりました。また、取扱台数の減少により、広告費及び業者間オークションへの出品等に係る手数料は前年同期比で減少したことから、販売費及び一般管理費は前年同期比4.1%減少しました。

バイク事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,575百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益18百万円(前年同期はセグメント損失21百万円)となりました。

(フィットネス事業)

当第3四半期連結会計期間末日時点でのエンタイムフィットネス店舗数は前年同期末と同じ5店舗であります。また、2018年11月から開始したステップゴルフ店舗数は2店舗であります。エンタイムフィットネス及びステップゴルフ各店舗の会員数は引き続き堅調に推移しており、売上高は増加しましたが、ステップゴルフの出店に伴う人件費及び地代家賃が増加に伴い、販売費及び一般管理費は前年同期比18.7%増となったため、セグメント利益は減少しました。

フィットネス事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高378百万円(前年同期比12.2%増)、セグメント利益77百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,953百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益95百万円(前年同期比70.7%増)、経常利益88百万円(前年同期比59.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円(前年同期比100.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末において総資産は1,246百万円となり、前連結会計年度末と比較して356百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れ及び社債の発行により現金及び預金が306百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末において負債は948百万円となり、前連結会計年度末と比較して299百万円増加しました。主な要因としては、短期借入金が37百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が86百万円、1年内償還予定の社債を含む社債が200百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末において純資産は297百万円となり、前連結会計年度末と比較して57百万円増加しております。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は576百万円（前年同期は226百万円）となっております。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は13百万円（前年同期は同63百万円）となりました。主な要因としては、得られた資金では税金等調整前四半期純利益88百万円及び減価償却費32百万円の計上によるもの、支出した資金ではたな卸資産の増加額95百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は22百万円（前年同期は同29百万円）となりました。主な要因としては、支出した資金ではステップゴルフFC店の出店等に伴う有形固定資産の取得による支出28百万円、得られた資金では差入保証金の回収による収入9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は313百万円（前年同期は支出した資金230百万円）となりました。主な要因としては、得られた資金では社債の発行による収入192百万円、長期借入れによる収入295百万円、短期借入れによる収入50百万円、支出した資金では長期借入れの返済による支出208百万円、短期借入れの返済による支出12百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年1月1日付けでフィットネス事業の運営会社である株式会社アークコアライフを吸収合併いたしました。現時点では2019年4月12日に公表いたしました連結業績予想数値について変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,443	579,797
売掛金	51,684	55,681
商品	139,460	235,888
貯蔵品	3,180	2,743
その他	46,765	42,485
流動資産合計	514,534	916,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	127,186	127,749
その他(純額)	23,443	30,521
有形固定資産合計	150,629	158,270
無形固定資産		
のれん	11,618	9,751
その他	4,714	3,059
無形固定資産合計	16,332	12,810
投資その他の資産	208,274	158,565
固定資産合計	375,236	329,646
資産合計	889,770	1,246,243
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,647	6,621
短期借入金	-	37,499
1年内償還予定の社債	-	40,000
1年内返済予定の長期借入金	261,730	262,170
未払法人税等	13,586	3,040
賞与引当金	4,289	3,408
その他	117,678	99,908
流動負債合計	404,931	452,647
固定負債		
社債	-	160,000
長期借入金	237,956	323,933
その他	6,981	12,322
固定負債合計	244,937	496,255
負債合計	649,868	948,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	△186,663	△129,225
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	238,901	296,339
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	239,901	297,339
負債純資産合計	889,770	1,246,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	1,923,821	1,953,980
売上原価	968,936	944,060
売上総利益	954,885	1,009,920
販売費及び一般管理費	898,838	914,247
営業利益	56,046	95,672
営業外収益		
受取手数料	3,652	4,603
助成金収入	-	1,140
雑収入	3,883	1,941
その他	139	24
営業外収益合計	7,674	7,709
営業外費用		
支払利息	6,936	6,425
社債発行費	-	7,817
訴訟関連費用	871	-
その他	15	252
営業外費用合計	7,823	14,495
経常利益	55,898	88,887
税金等調整前四半期純利益	55,898	88,887
法人税、住民税及び事業税	2,023	6,714
法人税等調整額	25,284	24,734
法人税等合計	27,308	31,449
四半期純利益	28,589	57,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,589	57,438

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	28,589	57,438
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	28,589	57,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,589	57,438
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	55,898	88,887
減価償却費	43,674	32,861
のれん償却額	207	1,867
株式報酬費用	6,135	13,184
賞与引当金の増減額(△は減少)	548	△881
受取利息及び受取配当金	△24	△24
支払利息	6,936	6,425
社債発行費	-	7,817
売上債権の増減額(△は増加)	14,211	△3,996
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,296	△95,991
仕入債務の増減額(△は減少)	2,901	△1,025
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,521	3,723
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△457	△20,155
その他	2,297	1,399
小計	73,552	34,092
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△6,527	△6,028
法人税等の支払額	△3,143	△14,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,883	13,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,350	△1,350
有形固定資産の取得による支出	△10,714	△28,888
差入保証金の回収による収入	5,761	9,240
差入保証金の差入による支出	△2,624	△1,167
事業譲受による支出	△15,000	-
その他の支出	△5,500	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,427	△22,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	50,000
短期借入金の返済による支出	-	△12,501
長期借入れによる収入	-	295,000
長期借入金の返済による支出	△272,387	△208,583
社債の発行による収入	-	192,182
自己株式の売却による収入	41,839	-
自己株式の取得による支出	△42	-
配当金の支払額	△105	△15
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△956
割賦債務の返済による支出	-	△1,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,694	313,829
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△196,238	305,003
現金及び現金同等物の期首残高	422,565	271,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	226,326	576,047

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

2018年5月1日及び6月13日付けでAK Capital株式会社が新株予約権を行使したことにより、当社は自己株式115,900株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,913千円、自己株式が44,194千円減少しております。当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は257,730千円、自己株式は111,990千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書計上額(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	1,586,900	336,920	1,923,821
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△21,591	77,637	56,046

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 当第3四半期連結会計期間において、新規事業としてゴルフスクール事業を開始しております。当該事業は株式会社アークコアライフが運営・管理するため、「フィットネス事業」に含めております。これによる影響は軽微であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額	合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業		
売上高				
外部顧客への売上高	1,575,815	378,165	-	1,953,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,750	-	△6,750	-
計	1,582,565	378,165	△6,750	1,953,980
セグメント利益	18,368	77,304	-	95,672

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(完全子会社の吸収合併)

当社は、2019年10月25日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社アークコアライフを吸収合併することを決議し、同日付けで吸収合併契約を締結し、2020年1月1日付けで吸収合併いたしました。

1. 企業結合の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 株式会社アークコア

事業の内容 中古バイク買取販売

(吸収合併消滅会社)

名称 株式会社アークコアライフ

事業の内容 スポーツ施設の経営

② 企業結合日

2020年1月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社アークコアライフを消滅会社とする吸収合併方式であり、株式会社アークコアライフは本合併終了後に解散いたします。

④ 企業結合に係る割当ての内容

当社は、株式会社アークコアライフの全株式を保有しているため、本合併による新株式の発行、資本金の増加及び合併交付金、その他一切の対価の交付はありません。

⑤ 企業結合後の名称

株式会社アークコア

⑥ 取引の目的を含む取引の概要

経営資源の集約・効率的な組織運営を図るため、同社を吸収合併することといたしました。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2013年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。